

# Our Environment

## 環境への取り組み

### 基本的な考え方

野村グループは、グローバルに事業を展開する企業の責任として、事業を通じて気候変動問題の解決に貢献するとともに、自らの事業活動にともなう環境負荷低減に取り組んでいます。また、「野村グループ倫理規程」のなかに「環境保護に対する責任を常に意識し、環境問題に積極的に取り組む」と定めています。併せて、持続可能な開発目標(SDGs)やパリ協定などの国際動向を踏まえ、気候変動問題の解決に向けてグローバルで連携し活動しています。

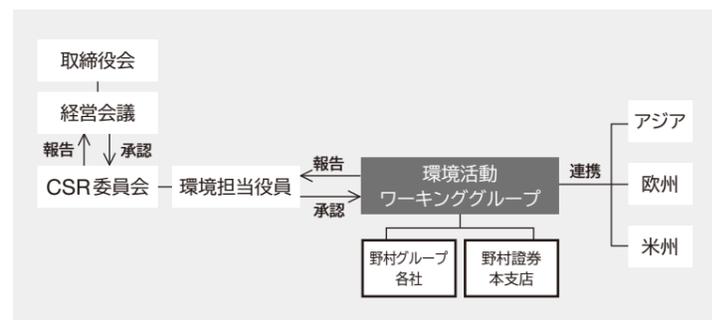
### 環境マネジメント

野村グループは、「野村グループ倫理規程」のもとに、2009年に環境理念と環境方針を取りまとめ、環境活動ワーキンググループが主体となって、グループ全体で環境負荷低減に取り組んでいます。

国内においては、環境マネジメントシステム(EMS:Environmental Management System)を確立し、環境に関するリスクや課題に対して包括的な環境保全活動を推進しています。

世界各地の事業拠点においても環境に配慮した取り組みを進めており、ロンドンの本社ビルでは現地認証機関の審査のもとに2007年からISO14001認証を維持するとともに、2015年には新たにエネルギーマネジメントシステムであるISO50001認証を取得しました。

#### 野村グループの環境マネジメント推進体制



### 野村グループ(国内)環境目標

国内では、2031年3月期における床面積1㎡あたりのCO<sub>2</sub>排出量を2010年3月期比20%以上削減する目標に沿って、省資源・省エネルギー対策を推進しています。

#### 野村グループ(国内)における環境目標および実績

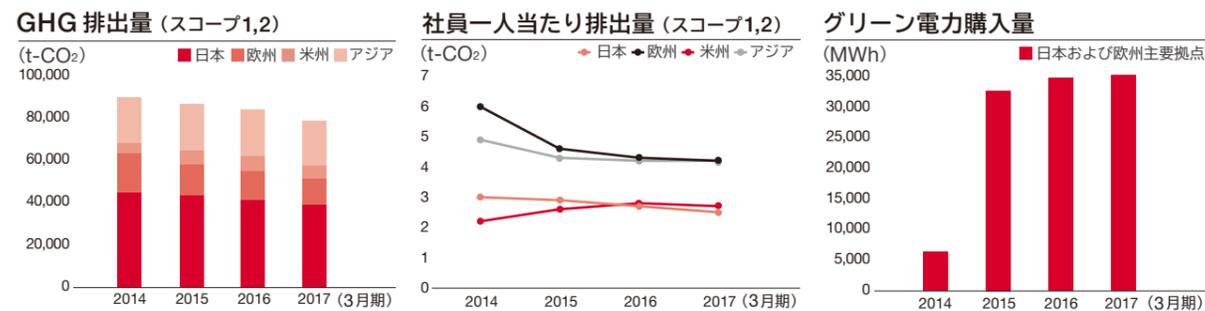
	2017年3月期目標	実績・評価	2018年3月期目標
温室効果ガス排出量削減	床面積1㎡あたりのCO <sub>2</sub> 排出量を2010年3月期比20%以上削減	○ 32.4%削減	床面積1㎡あたりのCO <sub>2</sub> 排出量を2010年3月期比20%以上削減
	野村証券のリース車による走行距離あたりのCO <sub>2</sub> 排出量を前年比削減	○ 2.4%削減	野村証券のリース車による走行距離あたりのCO <sub>2</sub> 排出量を前年比削減
	主要拠点における廃棄物排出量を2014年3月期比削減	○ 6.0%削減	主要拠点における廃棄物排出量を2014年3月期比削減
資源の有効活用	事務用品のグリーン購入率85%	○ 購入率92.09%	事務用品のグリーン購入率85%
紙類の削減	コピー用紙使用量(年間購入量)を前年比削減	○ 5.0%削減	コピー用紙使用量(年間購入量)を前年比削減
	電子交付サービスの推進	○ 電子交付承諾口座137.8万口座	電子交付サービスの推進
本業を通じた環境への貢献	社会的課題の解決につながる金融商品やサービスの拡大	○ ソーシャルボンド「JICA債」、NRIグリーンボンド等の引受・販売により「社会貢献型投資」を推進	社会的課題の解決につながる金融商品やサービスの拡大

\* 環境目標の詳細については <http://www.nomuraholdings.com/jp/csr/environment/management.html> をご覧ください。



### 気候変動への取り組み

当グループは、環境情報の開示をグローバルに拡充しております。また、グリーン電力の利用を通じて、環境負荷低減を促進しています。



\* 環境情報の詳細については、P93環境とのかかわりをご覧ください。